

資料編

1 これまでの緑化の取組

参考：表－1 緑化の取組

区分	緑化の取組	
明治36年（1903年）	広島市としての初の都市公園開設（比治山公園、江波山公園）	
昭和20年（1945年）	被爆	
昭和24年（1949年）	市営苗圃による緑化樹木の生産開始	
昭和27年（1952年）	広島平和記念都市建設計画による都市計画道路、公園・緑地の決定（平和記念公園、中央公園、河岸緑地等）	
昭和29年（1954年）	広島市長から全国の市長へ樹木の寄贈を要請	【第1次緑化運動】
昭和30年（1955年）	平和記念公園の完成	
昭和32年（1957年）	「供木運動」の展開（1957年～1958年）	
昭和46年（1971年）	安佐動物公園の開園	
昭和48年（1973年）	「市の木 クスノキ」 「市の花 キョウチクトウ」の制定	
昭和49年（1974年）	工場立地法の改正（緑地の面積割合の設定）	【第2次緑化運動】
昭和50年（1975年）	「緑化宣言」（広島市長） 広島市緑化推進審議会の発足	
昭和51年（1976年）	第1回広島市緑化推進市民大会の開催 （財）広島市公園協会の設立 植物公園の開園	
昭和53年（1978年）	優秀緑化施設表彰の開始	
昭和54年（1979年）	広島市公園協会賞の設置 公共施設緑化推進要領の制定	
昭和55年（1980年）	緑化基金の設置	
昭和56年（1981年）	広島市都市美計画の策定 民間施設緑化奨励補助事業の開始	
昭和58年（1983年）	中央公園の一応の完成 藤棚の道の整備	
昭和59年（1984年）	「緑の都市賞」総理大臣賞の受賞	
昭和61年（1986年）	広島市総合緑化計画の策定 環境保全協定に基づく緑化指導の開始	
平成元年（1989年）	広島市森林公園の開園	【第3次緑化運動】
平成6年（1994年）	広島広域公園の完成 ひろしま街づくりデザイン賞の開始	
平成7年（1995年）	ヒロシマエバヤマザクラの命名	
平成9年（1997年）	第14回全国都市緑化ひろしまフェア「グリーンフェスタひろしま'97」の開催	
平成11年（1999年）	（財）広島市動植物園・公園協会の設立 広島市植木せん定枝リサイクルセンター開設 平和記念公園樹木いきいきボランティア活動開始	
平成12年（2000年）	緑化指導者派遣事業の開始 ハナミズキ2001事業開始	
平成13年（2001年）	「広島市緑の基本計画」策定 安佐動物公園こども動物園「ぴーちくパーク」開設 平和大通りに樹木説明板を設置	
平成14年（2002年）	「広島市緑の推進計画」策定 被爆樹木の樹勢回復事業開始 緑化施設整備計画認定制度開始 市役所本庁舎で屋上緑化実験開始 保存樹と保存樹林指定開始	
平成16年（2004年）	身近な公園再生構想策定 「身近な公園再生の進め方」を策定 グリーン・パートナーモデル事業を開始	
平成17年（2005年）	身近な公園再生事業開始	

区分	緑化の取組
平成18年（2006年）	「広島市緑地保全計画」策定
平成19年（2007年）	ふれあい樹林モデル事業を実施
平成20年（2008年）	「ふれあい樹林制度」を開始 「民有地緑化ガイドライン」を策定
平成21年（2009年）	市役所本庁舎南側で壁面緑化を開始
平成22年（2010年）	「緑化推進制度」の開始 緑化基金の事業拡大（民間建築物等緑化事業、記念樹緑化事業、緑のカーテン設置事業）
平成23年（2011年）	「広島市緑の基本計画2011-2020」を策定 「緑地保全の方針」を策定
平成24年（2012年）	「花と緑の広島づくり推進本部」を設置 「花と緑の広島づくりネットワーク」を設立
平成25年（2013年）	「四季の花プランター設置事業」を開始
平成26年（2014年）	「グリーン・パートナー事業」を開始
平成27年（2015年）	全国花のまちづくり広島大会 広島市森林公園と広島県緑化センターとの統一愛称として「ひろしま遊学の森」が決定
平成29年（2017年）	平和大通りに供木に関する説明板を設置 「花と緑と音楽の広島づくり推進本部」へ名称を変更
平成31年（2019年）	平和記念公園に寄附樹木説明板を設置
令和2年（2020年）	第37回全国都市緑化ひろしまフェア「ひろしまはなのわ2020」を開催



市の木 クスノキ

戦前は巨樹老木がデルタ市街地の随所に見られましたが、原爆でそのほとんどを失いました。しかし、生き残ったクスノキはいち早く生命をよみがえらせ、市民に生きる希望と復興への力を与えました。



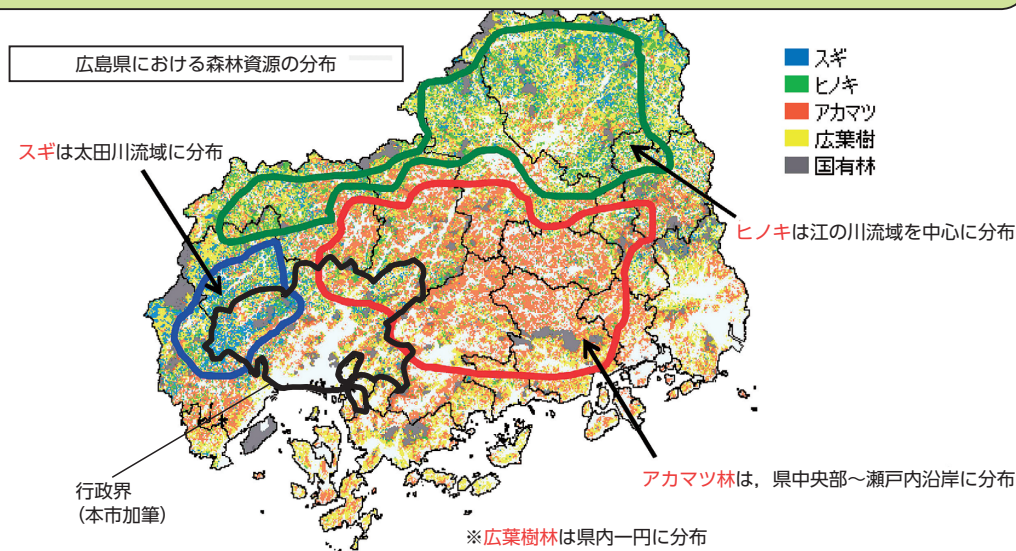
市の花 キョウチクトウ

原爆により75年間草木も生えないと言われた焦土にいち早く咲いた花で、当時復興に懸命の努力をしていた市民に希望と力を与えました。8月6日の平和記念日の頃に花の盛りを迎え、紅、白、淡黄色の花々が広島夏の風景を彩っています。

2 広島県の森林

1. 広島県の森林・林業・木材産業－ (1) 広島県の森林①

- 広島県の県土面積85万haのうち、61万ha（72%）が森林。
- 県南部は、降水量が少なく、花崗岩地帯で土地がやせていることから、アカマツ林が多い。近年では、松くい虫被害や手入れ不足により、アカマツ林が減少し、低木の広葉樹林が増加。
- 県北部は、スギ・ヒノキの人工林やコナラ等の薪炭林由来の広葉樹林が多い。

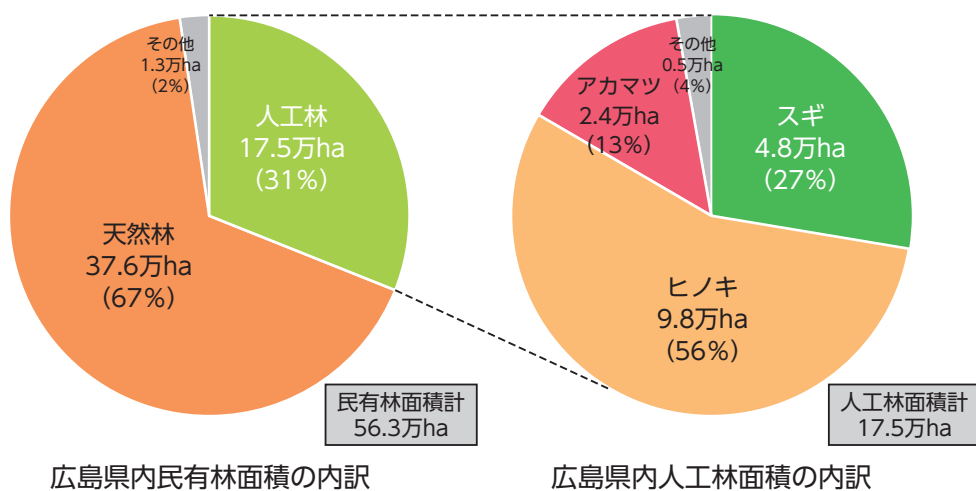


(1) 広島県の森林②

- 県内の民有林面積（56.3万ha）のうち、人工林が17.5万ha（31%）、天然林が37.6万ha（67%）。
- 人工林のうち、主に製材用として用いられるスギとヒノキが14.5万ha（83%）を占める。

資料：林業調べ（令和2年4月現在）

注）四捨五入のため、内訳の計と合計は必ずしも一致しない。



広島県林務関係行政資料（令和2年10月）より抜粋

3 公園の種類

参考：表-2 都市公園等の種類

種類	種別	内容
住区基幹公園	街区公園	主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で1箇所当たり面積2haを標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で1箇所当たり面積4haを標準として配置する。
	特定地区公園	都市計画区域外の一定の町村における農山漁村の生活環境の改善を目的とする特定地区公園（カントリーパーク）は、面積4ha以上を標準として配置する。
都市基幹公園	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積10～50haを標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積15～75haを標準として配置する。
大規模公園	広域公園	主として一の市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圏等広域的なブロック単位ごとに1箇所当たり面積50ha以上を標準として配置する。
	レクリエーション都市	大都市その他の都市圏域から発生する多様かつ選択性に富んだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模1,000haを標準として配置する。
国営公園		一の都府県の区域を超えるような広域的な利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園にあっては、1箇所当たり面積おおむね300ha以上として配置する。国家的な記念事業等として設置するものにあっては、その設置目的にふさわしい内容を有するように配置する。
緩衝緑地等	特殊公園	風致公園、墓園等の特殊な公園で、その目的に則し配置する。
	緩衝緑地	大気汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止を図ることを目的とする緑地で、公害、災害発生源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について公害、災害の状況に応じ配置する。
	都市緑地	主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1箇所当たり面積0.1ha以上を標準として配置する。但し、既成市街地等において良好な樹林地等がある場合あるいは植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善を図るために緑地を設ける場合にあってはその規模を0.05ha以上とする。（都市計画決定を行わずに借地により整備し都市公園として配置するものを含む）
	緑道	災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等を行うことを目的として、近隣住区又は近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地で幅員10～20mを標準として、公園、学校、ショッピングセンター、駅前広場等を相互に結ぶよう配置する。

注) 近隣住区＝幹線街路等に囲まれたおおむね1km四方（面積100ha）の居住単位

4 避難場所としての公園

参考：表－3 指定緊急避難場所（広島市地域防災計画より公園のみ抜粋）

行政区	名称	主な施設の有無			備考（公園内にあるその他施設）
		四阿等※	便所	水飲み場	
中区	吉島公園	×	○	○	集会所、災害用マンホールトイレ
	吉島東公園	○	○	○	
	江波皿山公園	○	○	○	
	東千田公園	×	○	○	
	江波山公園	○	○	○	
	千田公園	○	○	○	
	平和記念公園	×	○	×	
東区	中央公園	○	○	○	
	福木公園	○	○	○	
	新牛田公園	○	○	○	
	戸坂新町公園	×	○	○	
南区	牛田総合公園	○	○	○	
	瀨崎公園	×	○	○	
	比治山下公園	×	○	○	集会所
	宇品第一公園	×	○	○	集会所、防災用パーゴラほか防災施設
	出島西公園	○	○	○	
	宇品西公園	○	○	○	
	比治山公園	○	○	○	
西区	似島臨海公園	○	○	○	宿泊施設
	大芝公園	×	○	○	集会所
	草津公園	○	○	○	
	西部埋立第六公園	×	○	○	
	西部埋立第八公園	×	○	○	
	井口台公園	×	○	○	
	古田台公園	×	○	○	
	高須台中央公園	○	○	○	
	鈴が峰公園	○	○	○	
	西部埋立第五公園	○	○	○	
安佐南区	竜王公園	○	○	○	
	西部埋立第二公園	○	○	○	集会所
	高取公園	×	○	○	集会所
	毘沙門台公園	○	○	○	
	八木梅林公園	○	○	○	
	春日野中央公園	○	×	○	
	大塚学びの丘公園	○	○	○	
	毘沙門台東公園	○	×	○	
	Aシティ中央公園	○	○	○	
	こころ北公園	○	○	○	
	若葉台中央公園	○	○	○	
安佐北区	伴西公園	○	○	○	
	奥畑防災調節池公園	○	○	○	
	西風新都東公園	○	○	○	
	中山公園	○	○	○	
	西山公園	○	○	○	
	あさひが丘公園	×	○	○	
	矢口が丘公園	○	○	○	
	勝木台公園	○	○	○	
	桐陽台公園	×	○	○	
	口田南公園	○	○	×	
倉掛公園	○	○	○		
恵下山公園	○	○	○		
寺迫公園	○	○	○		
寺山公園	○	○	○		

行政区	名 称	主な施設（数字は箇所数）			備考（公園内にあるその他施設）
		四阿等※	便所	水飲み場	
安芸区	月が丘公園	×	○	○	
	矢野新町公園	○	○	○	
	安芸矢野ニュータウン中央公園	×	○	○	集会所
	みどり坂第一公園	○	○	○	
	絵下山公園	○	○	○	
	畑賀公園	○	○	○	
	岩滝公園	○	○	○	
	みどり坂中央公園	○	○	○	
佐伯区	薬師が丘第六公園	○	○	○	
	五月が丘第五公園	○	○	○	
	彩が丘中央公園	○	○	○	
	石内南中央公園	○	○	○	
	坪井公園	×	○	○	
	杉並台公園	×	○	○	
	海老山公園	○	○	○	
	美鈴が丘中央公園	○	○	○	

※四阿（あずまや）等には、シェルターなどの屋根がついている施設を含む。

1 計画策定への市民参画

計画の策定に当たっては、素案を公表し、市民意見の募集を行い、この結果を計画策定の参考にしました。

なお、素案の作成段階でも、緑に関する市民アンケート調査を実施し、市民の意見を踏まえています。

参考：表-2 「広島市みどりの基本計画（2021-2030）素案」の市民意見募集の概要

実施時期	令和2年（2020年）9月30日～令和2年（2020年）10月30日
目的	「広島市みどりの基本計画（2021-2030）素案」を公表し、意見の募集を行い、改定の参考とする。
実施方法	「広島市みどりの基本計画（2021-2030）素案」を各区役所へ設置するとともに、市ホームページへ掲載により公表し、広報誌「市民と市政」や市ホームページにより周知を図り、郵送、ファックス、市ホームページの応募フォーム、メール、緑政課窓口への持参により意見を募集した。
応募状況	応募総数 5件（応募者数 4人）
募集結果	<ul style="list-style-type: none"> ■意見の趣旨が既に計画（素案）に盛り込まれているもの…3件 ■市政全般や個別具体的取組に対する意見などであり、今後の事務事業推進等において参考とするもの…2件

参考：表-3 緑に関する市民アンケート調査の概要

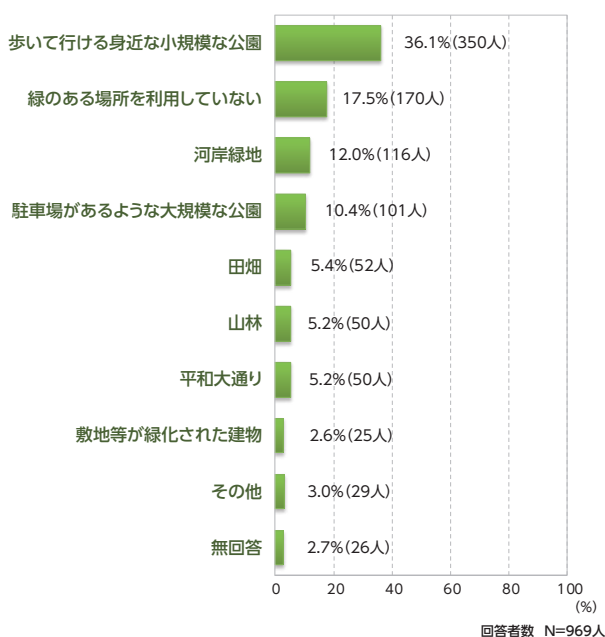
実施時期	令和元年（2019年）12月25日～令和2年（2020年）1月20日
目的	緑のまちづくりに関する市民意識を把握し、「広島市みどりの基本計画（2021-2030）」の策定に当たっての基礎資料とする。
実施方法	市内在住の20歳以上の人から3,000人を無作為抽出 調査票を郵送し、調査票の郵送及びインターネットの回答により回収
回収状況	回答者数 969人（回収率 32.3%）
調査結果	次ページ以降に記載

2 緑に関する市民アンケート調査の結果

(1) 緑の利用状況について

- ① 最もよく利用する緑のある場所は「歩いて行ける身近な小規模な公園」が約36%と最も多く、次いで「緑のある場所を利用していない」が約18%となっています。

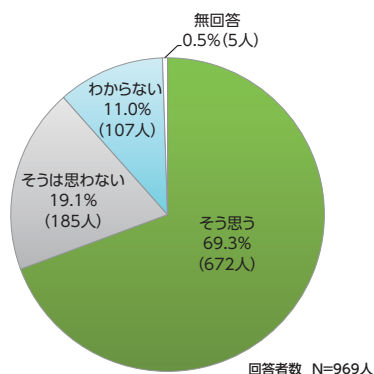
問A あなたが最もよく利用される緑のある場所はどこでしょうか。



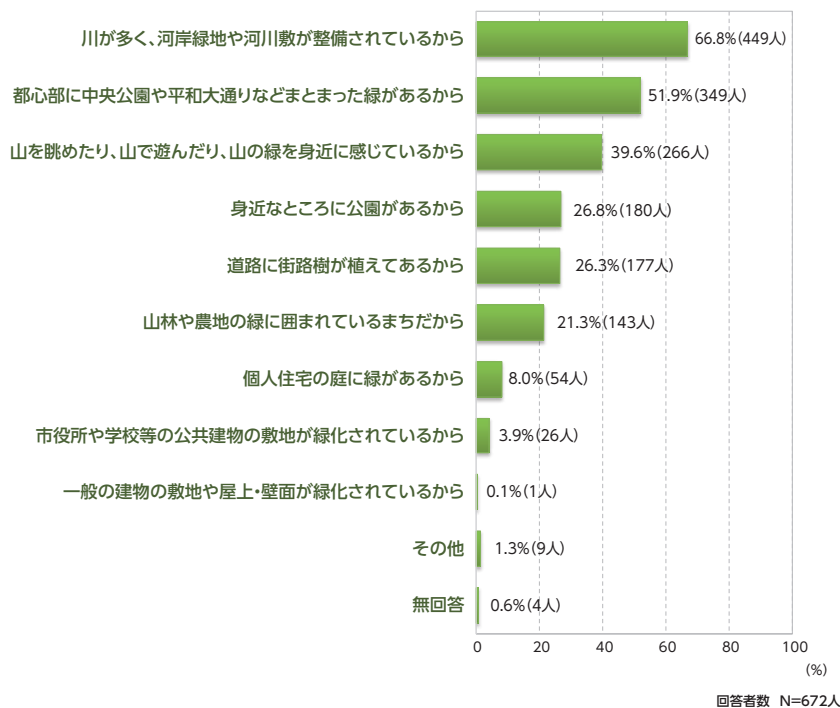
(2) 都市の緑に対する評価について

- ① 広島市は緑豊かなまちだと思う人は約69%で、その理由としては、河岸緑地、中央公園や平和大通りなどに創出された緑の存在があげられています。
- ② 一方、広島市は緑豊かなまちと思わない人は約19%で、その理由としては、一般の建物周辺の緑や街路樹の不足感、宅地開発等による緑の減少などがあげられています。

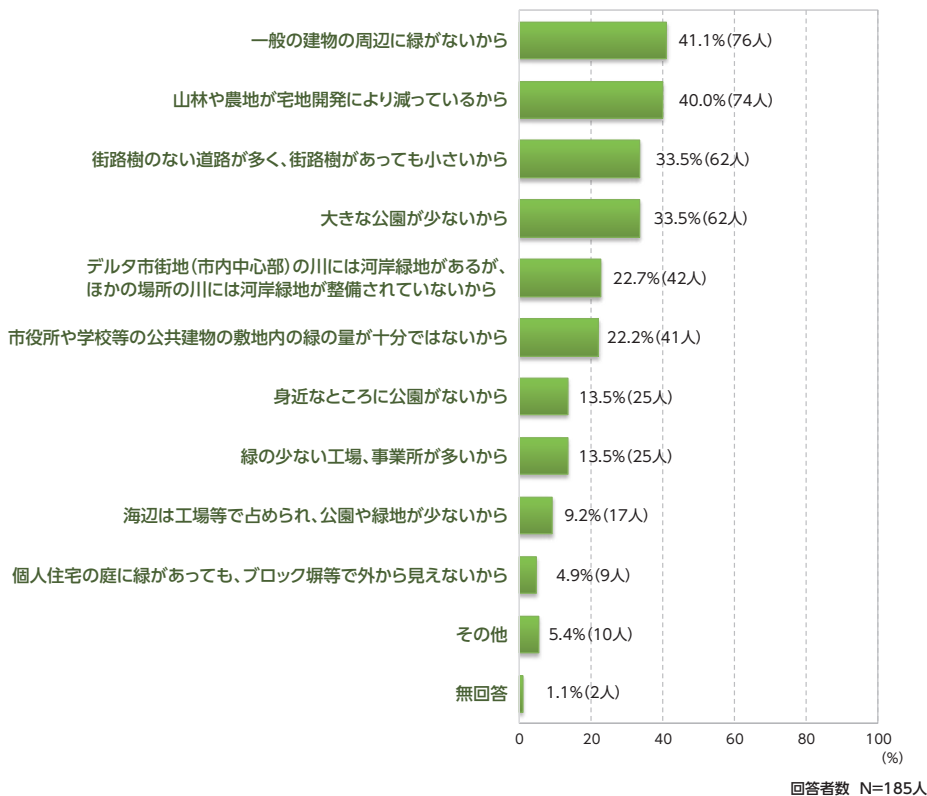
問B 広島市は緑豊かなまちと思えますか。



問B-1 問Bで「そう思う」を選んだ方にお聞きします。そう思われる理由は、次のうちどれでしょうか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は3つまで)



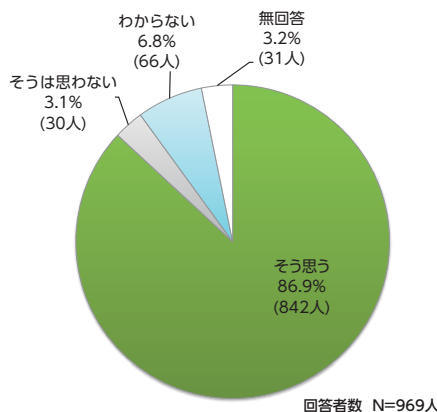
問B-2 問Bで「そうは思わない」を選んだ方にお聞きします。そう思わない理由は次のうちどれでしょうか。あなたの考えに近いものを選んでください。(○は3つまで)



(3) 緑地の保全について

- ① 山林や樹林などを保全すべきと思う人は約87%で、保全すべき対象として、貴重な自然として評価されているもの、デルタ市街地にあるもの、地域に親しまれているものなどがあげられています。

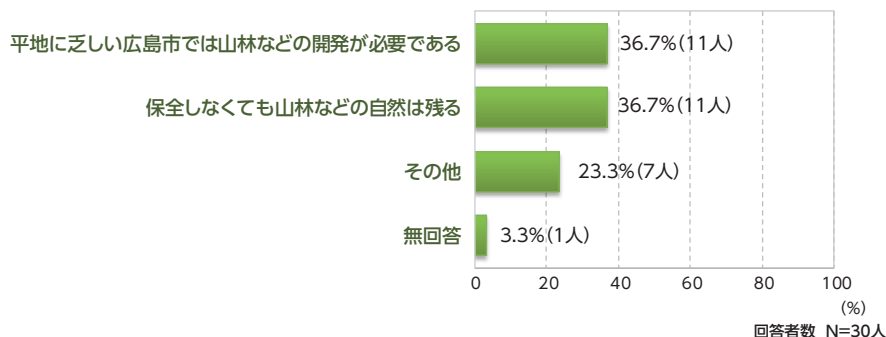
問C 山林や樹林などを保全すべきと思われますか。



- 問C-1 問Cで「そう思う」を選んだ方にお聞きします。どのような山林や樹林などを保全すべきと思われますか。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は3つまで)



問C-2 問Cで「そうは思わない」を選んだ方にお聞きします。そう思わない理由は、次のうちどれでしょう。あなたの考えに近いものを選んでください。

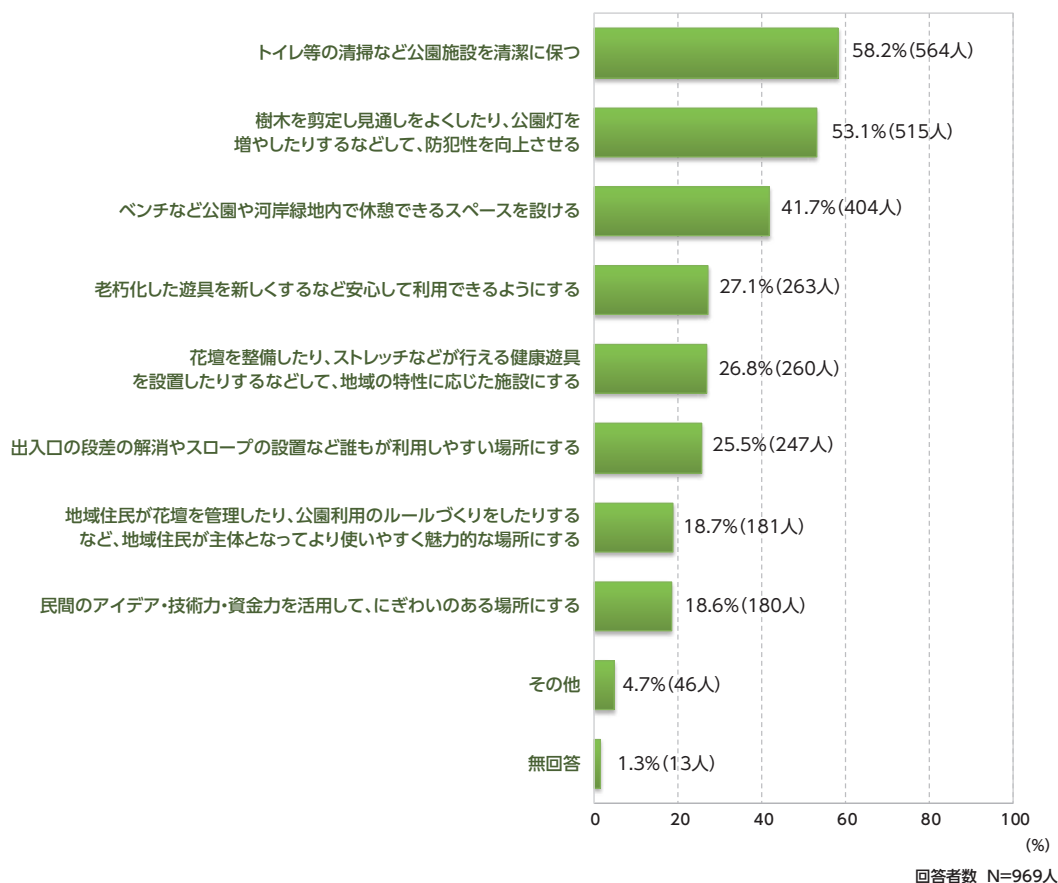


(4) 都市公園の活用について

- ① 今ある公園をより多くの方に利用していただくための取組として、「トイレを清潔に保つ」が約58%と最も多く、次いで「樹林を剪定し見通しをよくしたり、公園灯を増やしたりするなどして防犯性を向上させる」が約53%となっています。

問D

今ある公園を、より多くの方に利用していただくためには、今後どのような取組が必要であると思われますか。あなたの考えに近いものを選んでください。
(〇は3つまで)

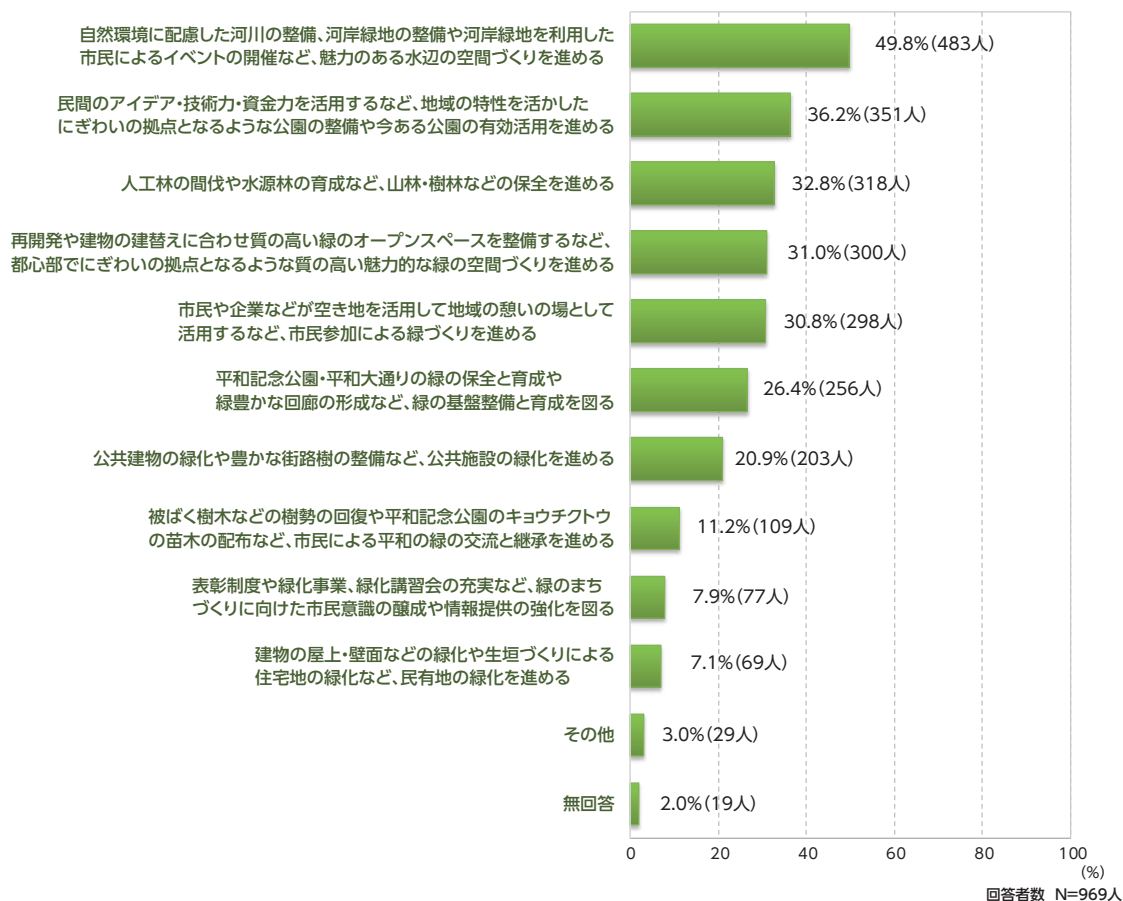


(5) 緑化の推進について

- ① 広島市が今後重点を置くべきこととして、「自然環境に配慮した河川の整備、河岸緑地の整備や河岸緑地を利用した市民によるイベントの開催など、魅力のある水辺の空間づくりを進める」が約50%と最も多く、次いで地域の特性を活かしたにぎわいの拠点となるような公園の整備や山林・樹林などの保全を進めることがあげられています。

問E

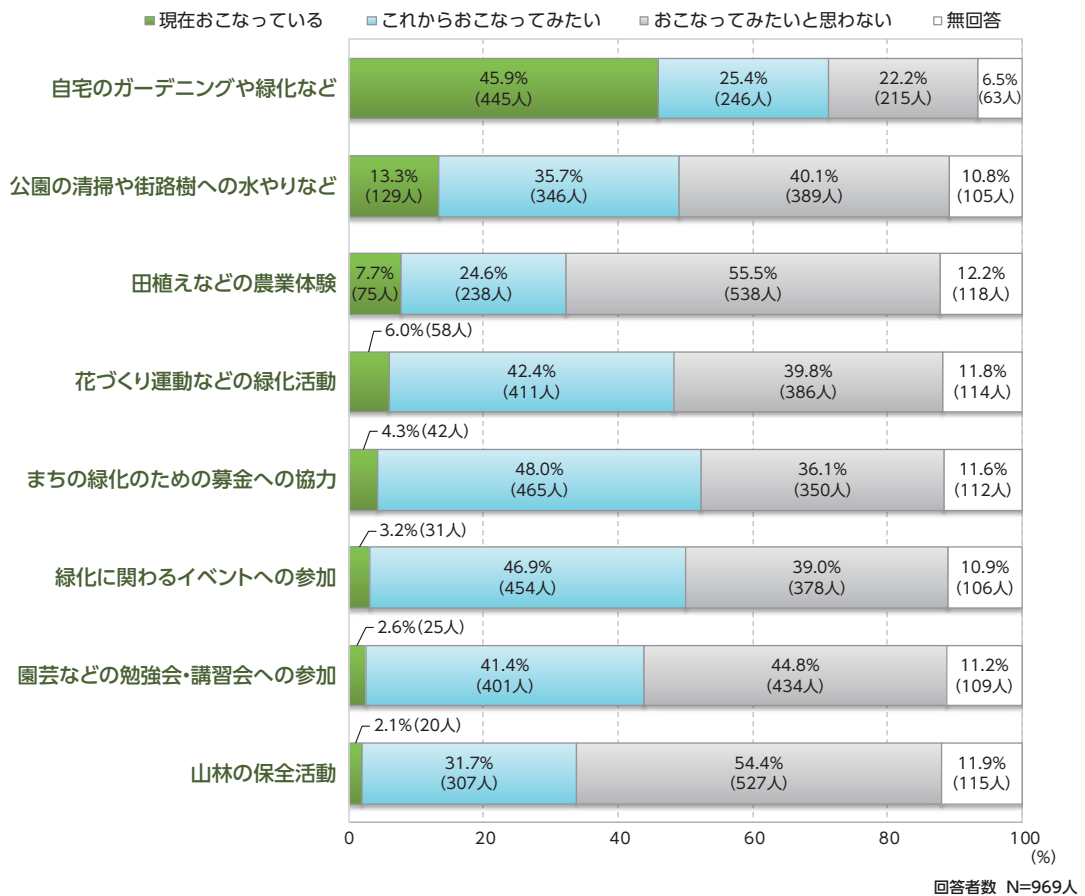
広島市はまちの緑化に取り組んでいますが、今後どのようなことに重点を置くべきでしょうか。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は3つまで)



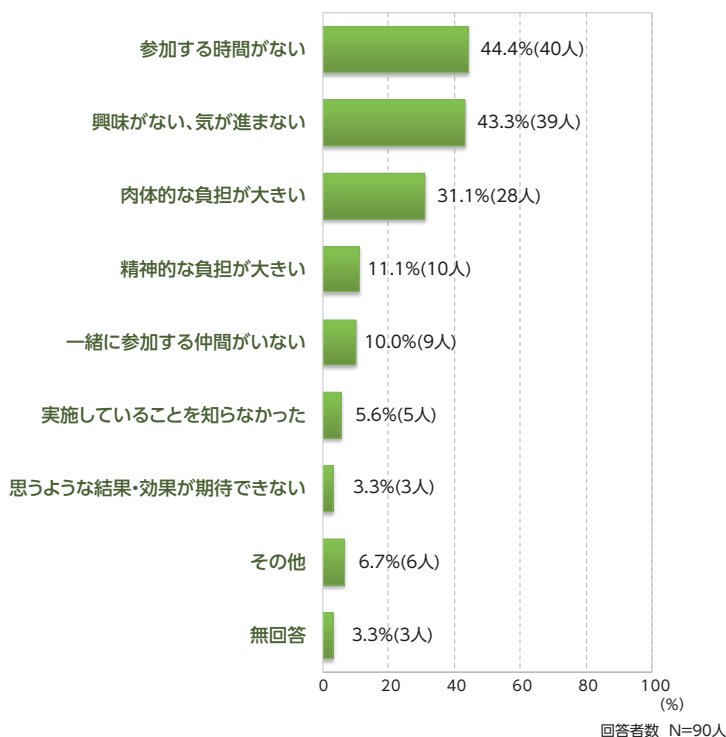
(6) 市民との協働について

- ① 緑に関する活動について、現在おこなっていることとしては、自宅のガーデニングや緑化が約46%と最も多く、次いで公園清掃や街路樹への水やりなどがあげられています。また、これからおこなってみたいこととして、緑化のための募金協力が約48%と最も多く、次いで緑化に関わるイベント参加や花づくり運動などがあげられています。
- ② 一方、おこなわない理由として、参加する時間がない人が約44%と最も多く、次いで興味がない、肉体的な負担があげられています。
- ③ 緑に関わる上で、市に特に支援してほしいこととしては、「補助金や資材の提供などの経済的支援」が約21%と最も多く、次いで「制度や活動などの情報提供や仲間づくりなどの仲介」が約16%となっています。

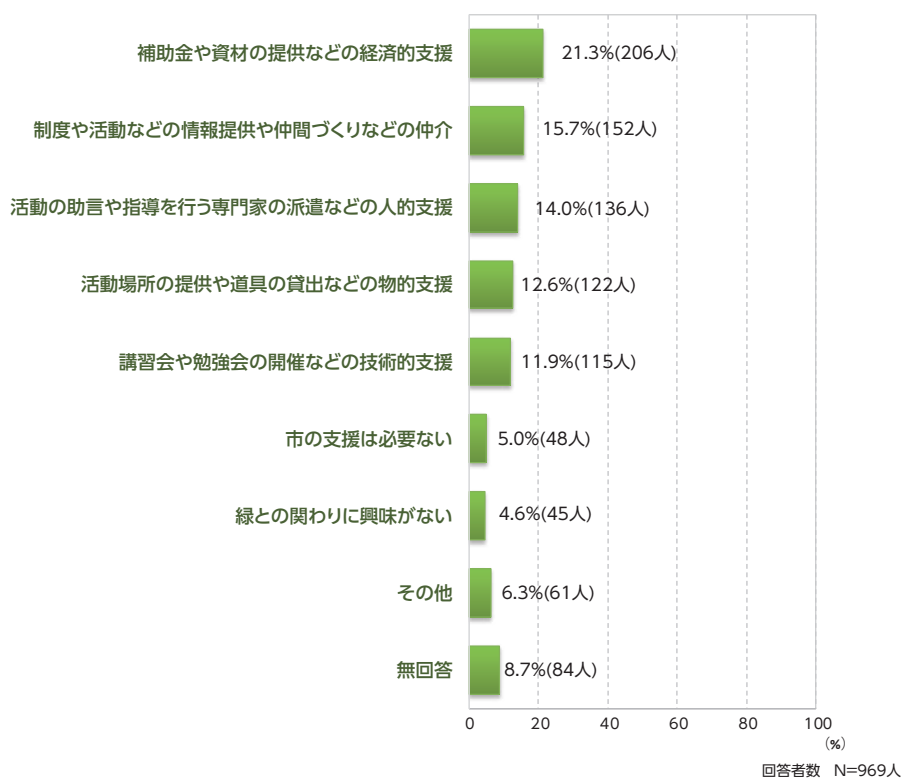
問F 次にかかげる活動について、あなたに当てはまる内容を選んでください。



問F-1 問Fですべての活動について「おこなってみたいと思わない」と回答した方にお聞きします。これまでおこなわなかった、また、これからもおこなわない理由は、次のうちどれでしょうか。あなたの考えに近いものを選んでください。(〇は2つまで)



問F-2 すべての方にお聞きします。あなたが緑に関わる上で、市に特に支援してほしいことは何ですか。



1 各区のアクションプランに位置付けた取組

各区のアクションプランに記載してある緑に関連の深い取組のうち、各区の特徴的な取組の一部を抜粋しています。

参考：表－5 緑に関連の深い取組

区	取組	基本方針（まちづくりの方針）
中区	おもてなしの花づくり活動（まちなか重点地区） 来訪者に対するおもてなしの向上を図るため、商店街組合等によるまちなか重点地区での花づくり活動を推進します。	都心にふさわしいにぎわいを創るまちづくり 中四国地方の中核都市として、高次都市機能の集積が進む広島市の都心の魅力を生かした新たなイベントの開催や、様々な目的の来訪者を受け入れるためのおもてなし活動の充実など、多くの人が集う活力あるまちづくりを進めます。
	水辺空間のにぎわいづくり 「水の都ひろしま」の魅力をアピールするため、河岸緑地などの美しい水辺空間において、オープンカフェや水辺のコンサートなどにぎわいイベントを開催します。	自然と歴史、文化芸術を生かしたまちづくり 「水の都ひろしま」にふさわしい水辺を生かした取組や、豊富な歴史的・文化芸術的資源を活用したにぎわいづくりなど、身近な地域資源を生かした個性的で魅力あるまちづくりを進めます。
	特徴ある河岸緑地、橋、公園などの公共空間の創出検討 水辺の空間を楽しむために欠かせない、特徴的な河岸緑地、橋、公園などの公共空間の創出を検討します。	
	公共空間での環境美化活動や花づくり活動を通じた交流促進 公共空間の環境美化活動や花づくり活動を通して、住民の交流促進を図ります。	地域コミュニティを育むまちづくり 地域課題の解決やまちの活性化に向けて、住む人・働く人・学ぶ人など様々な人々が交流し、地域コミュニティや多様な市民活動を活性化させるまちづくりを進めます。
東区	都心の近くにある自然とのふれあいの促進 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促します。	地域資源を生かした個性豊かなまちづくり 都心の近くにある緑豊かな自然や歴史的・文化的にも価値の高い寺社、地域の伝統行事など、魅力的な地域資源を生かした個性豊かなまちづくりを進めます。

区	取組や活動	基本方針（まちづくりの方針）
南区	似島の魅力を活用したまちづくり 観光資源として潜在的な可能性を秘めている似島において、島民の主体的な魅力づくり活動を支援するとともに、地域おこし協力隊や島内施設、事業者等と連携して魅力づくり事業を進めます。 ・ニノシマボタルを育てる里人の会の支援	山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり 山や島などの豊かな自然の魅力に触れ、その大切さを学ぶことのできる環境づくりに取り組むとともに、それらの魅力を次世代へ継承していく、自然の魅力を活用した美しいまちづくりを進めます。特に似島については、人口減少等の課題解決に向けて、その地域資源を生かした取組を重点的に進めます。
	地域資源の活用・発信による地域愛の醸成 地域資源や特性を生かしたイベント等の実施により、幅広く住民や地域企業の参画を促すほか、印刷物や各種媒体の作成等により南区の魅力を区内外に発信します。 ・元宇品の自然保護と活用 ・南区散策ガイドの更新	
	地域の担い手育成の推進 地域の担い手育成のため、住民の主体的なコミュニティづくりの活動を支援します。 ・南区わくわくお花サロンの開催 ・旧国鉄宇品線跡地（国有地）の活用 ・花と緑のまちづくり地域活動促進事業の推進	人と人のつながりを大切にしたいみんなが支え合う安全・安心なまちづくり 地域活動の担い手の育成や地域の防災・防犯力の強化など地域課題の解決に向け、住民の主体的なコミュニティづくりの取組に対する支援などにより、みんなが見守り支え合う安全・安心なまちづくりを進めます。
西区	西区やまなみハイキングルートの活用 西区には、瀬戸内海を眺望でき、春夏秋冬を通じて登山を楽しめる鈴ヶ峰、宗箇山（三滝山）などの山があります。西区の五山を縦断するハイキングルートを活用し、山登りの初心者から経験者まで区民が気軽に自然を楽しみ、健康づくりの場として利用できるように提供します。	地域資源を活用したまちづくり 太田川放水路や天満川、宗箇山や鈴ヶ峰などの豊かな自然や、西国街道、三瀧寺などの歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりを進めます。
	水辺環境施設を活かしたイベントの開催 太田川放水路や天満川などの身近な水辺空間を活用し、余暇活動をはじめ健康づくりや学習の場を提供するとともに、区民の参画を図り、自主的なまちづくり活動につなげます。	にぎわいのあるまちづくり 子どもから高齢者、外国人などの様々なヒトや、モノ・情報が行き交うにぎわいのある活動的なまちづくりを進めます。
安佐南区	公共施設の有効活用 公園などの公共施設において、住民が行う花壇づくりを支援することによって、地域の良好な環境をつくることと、住民のコミュニティ活動の活性化を図ります。また、地域団体が公園などの公共施設を有効活用することで、にぎわいづくりや活動財源の確保を図る新たな制度（小さなエリアマネジメント）による、持続的かつ住民主体のまちづくりを促進します。	みんなで支え合い、安全・安心・健康に暮らせるまちづくり 住民、企業等の事業者、関係機関、行政（区役所）がそれぞれの立場を担い、協働して地域の福祉や住民の健康づくりを推進するとともに、平成26年8月の豪雨災害などの教訓を踏まえた防災力、犯罪を未然に防ぐ防犯力を高め、誰もが安全・安心・健康に暮らせるまちづくりを進めます。
	農林業を通じた交流の促進 安佐南区内の農林業の持続的な振興を図ることで、自然環境の保全につなげるとともに、農林業を通じて人々が交流するまちづくりを推進します。また、農業の重要性や生産者の苦勞、食べ物の大切さを学び、子供たちの豊かな心を育むことを目的とした取組を推進します。	自然と共に豊かに暮らし、交流するまちづくり 里山や川などの身近な自然を保全・活用し、農林業の振興や中山間地の活性化、住民が自然と触れることのできる環境づくりに取り組み、自然と共に豊かに暮らし、自然を通じて人々が交流するまちづくりを進めます。

区	取組や活動	基本方針（まちづくりの方針）
安佐北区	棚田の保存と活用 日本の中山間地域の原風景である「棚田」を守るため、令和元年（2019年）8月に棚田地域振興法が施行され、中山間地域で多くの面積を占める安佐北区において、棚田を地域資源として活用することは有益であることから、それらを地域の財産として保存し、その活用方法について、地域主体の組織を立ち上げ、検討します。	自然や歴史、伝統文化など地域資源を生かしたまちづくり 豊かな自然や歴史ある寺社・遺跡、神楽・和太鼓などの伝統芸能、きれいな地下水を利用した酒や醤油等の醸造業など、安佐北区ならではの地域資源を次世代に継承するとともに、これらの地域資源を生かしたまちづくりを進めます。
	実りの里づくり 活性化を目指す農村において、住民主体の活性化ビジョン策定や実践活動を支援し、地域住民が主体となり、農村に魅力を感じる都市部の住民や行政等が連携しながら過疎対策を進めることにより、多面的機能を有する農村の維持・発展を図ります。	みどりの恵みが実るまちづくり 農林業における多様な担い手の育成・支援や農業生産基盤の整備を進め、その振興を図るとともに、農地や里山などの地域資源を活用し、都市部の住民との交流、定住の促進など中山間地の活性化を図るまちづくりを進めます。
安芸区	健康づくりの増進 ウォーキングを開催したり地域の集まりを促したりすることにより、住民の健康づくりの機会を提供し、地域の活性化を図ります。	人を育み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくり まちづくりの担い手や子育て支援体制の確保、防災・防犯力の強化などの地域課題の解決に取り組み、安全・安心で地域が支え合いながら健康に暮らせるまちづくりを進めます。特に、中山間地では、定住の促進などにより、地域コミュニティの活性化を図ります。
	豊かな自然との共存 自然観察会を開催することにより、住民が自然に触れるきっかけづくりを行います。また、登山道の整備を行うなど、住民が身近に親しむことのできる環境づくりを行います。	豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくり 岩滝山や蓮華寺山、鉾取山、絵下山などの山々や瀬野川の水辺などの豊かな自然を保全・活用し、住民が身近に緑や水に親しむことのできる環境づくりに取り組み、豊かな自然と共存したやすらぎのあるまちづくりを進めます。
	花と緑と音楽を通じた地域のきずなづくり 区内の花づくり活動を行う団体等を育成・支援し、音楽に触れる機会を設けることにより、花と音楽にあふれた魅力あるまちづくりを進めます。	ふれあいと文化の薫る交流のまちづくり かつての西国街道沿いの史跡や伝統行事を始めとする歴史・文化資源の保存・活用・継承に取り組みます。また、住民が地域を愛する心を育み、多様性を受け止め、互いに認め合い、交流することができるとともに、湯来温泉や湯の山温泉を始めとした魅力ある歴史や文化等の地域資源を承継・活用したまちづくりを進めます。
佐伯区	豊かな自然環境の維持・活用 多くの人に区内の山や滝などの自然に親んでもらえるよう、区内の各登山道の安全確認や整備を進めるなど、区の特長である豊かな自然を維持し、活用したまちづくりを進めます。	自然と共生し、歴史・文化を体感できるまちづくり 海、川、山などの豊かな自然環境を維持・活用するとともに、湯来温泉や湯の山温泉を始めとした魅力ある歴史や文化等の地域資源を承継・活用したまちづくりを進めます。

2 花と緑と音楽の広島づくりの推進

各区で実施している「花と緑と音楽の広島づくりの推進」に係る取組項目のうち特徴的な取組を抜粋しています。

参考：表-6 花と緑と音楽の広島づくりの推進に係る取組（抜粋）

中区	取組項目名称	花と緑で彩る なかちゃん音楽の輪
	目的	「花と緑」と「音楽」を連携させたイベントを開催することにより、区民一人ひとりに日々の暮らしへの潤いと豊かさを感じてもらうとともに、にぎわいと活力をもたらすまちづくりを進める。
	内容	<p>1 実施方法</p> <p>イベントの趣旨に賛同する団体等によって実行委員会を組織し、団体等が主体的に行うイベントとの共催・関連事業を行いながら、これらを繋げた取組を区内全体に広げていく。会場を花で飾ったり、花の種を配布したりするなど、花と緑と音楽をテーマにしたイベントを団体等が実施し、実行委員会が支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>紙屋町シャレオ、アリスガーデン、仏だん通りといった中心部の公共空間やアステールプラザ中ホールといった大きな会場から、公民館や地域の祭り・イベントまで、中区内の様々な場所で音楽イベントを開催する。</p>
東区	取組項目名称	東区役所での花のもてなし、花づくり活動の支援
	目的	<p>区民に身近な区役所を花で飾ることで、来庁者に癒しの場を提供するとともに、地域団体等と協力して花と緑を飾る取組を進めることで、区全体の花いっぱい運動を促進する。</p> <p>また、彩り豊かな花に親しみふれあう「花のある街並みの形成事業」を区民参加のもとで継続的に実施し、花づくり活動を区全域へ広げていく。</p>
	内容	<p>地域住民の協力のもと、区役所駐車場周辺の花壇やプランターを花で飾るとともに、水やりや肥料散布等の管理・育成を行う。</p> <p>また、区内各地域において、公共施設（公園、道路敷など）で東区内の花づくり活動を行っている団体の活動について、必要な資材の提供を行うとともに、東区内の花づくり団体を対象に花づくり講習会（年1～3回）を行い、団体間で交流を深めるとともに、専門家から知識を学ぶ。</p>

南区	取組項目名称	広島みなとフェスタ【飾花した会場でのコンサート等の実施】、南区わくわくお花サロン
	目的	区民が協働で育苗した花苗を使用し、広島みなとフェスタのステージ及び会場を花で装飾することで、花と音楽でよりイベントを盛り上げる。また、花づくりに関する知識を深め、花づくり活動の担い手を育成する。
	内容	区内で花づくり活動をしている人を対象に講習会を開催し、受講生が種から花苗を育苗する。育苗した花苗を用いて、広島みなとフェスタ会場を協働で装飾する。また、育苗する上での問題やうまくできている事例などの情報を交換することで、より良い活動の一助となるよう交流会を開催する。
西区	取組項目名称	西広島駅周辺における花を活用した「もてなしの場」づくりの推進 花いっぱい事業の拡充
	目的	西区内にあるＪＲ３駅（西広島・横川・新井口）周辺（商店街を含む）を「花」を活用して、「行ってみたい」「来てよかった」「また来たい」と思ってもらえる「もてなしの場」として整備し、魅力を発信していく。
	内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 　ＪＲ西広島駅 駅南口前に設置したプランター（約３０個）に、季節の花を植栽するとともに、商店街の店舗入口などに季節の花を植栽したプランター（約１００個）を設置する。 2 　ＪＲ新井口駅 広島ドラゴンフライズが参戦しているＢリーグの開幕時期（１０月）に合わせ、ペDESTリアンデッキの壁面と柱に花をモチーフにしたパネルや柱巻きを設置する。 また、改札口花壇に花苗を植栽する。 3 　ＪＲ横川駅 アンジュヴィオレ広島の開幕（３月）に合わせ、駅南側のアーケードと柱に花をモチーフにした懸垂幕や柱巻きを設置する。

安 佐 南 区	取組項目名称	安佐南区花いっぱい運動
	目的	「安佐南区を花いっぱいにしよう」と区民ボランティアが自主的に行う公園などの公共的空間への花壇の開設及び維持管理等を支援するとともに、運動に参加する区民ボランティアの育成、ネットワークづくりに取り組む。
	内容	<p>1 区民ボランティアへの支援</p> <p>(1) 新規花壇開設者への花苗等の支給 新規花壇開設に伴う花苗、土、肥料等の資材を提供する。</p> <p>(2) 花苗づくり講習会の開催 種から苗を育て、花が咲くまでの花づくりの講義と実技講習会を開催し、地域や公共的空間を花いっぱいにする区民ボランティアを育成する。</p> <p>(3) 種から花苗育成への支援（種等の支給） 登録花壇に植える花苗を必要とする区民ボランティアが自ら、種から花苗を育て、分配することにより、花壇の運営に係る費用負担を軽減し、登録花壇の継続及び普及を図る取組を支援する。</p> <p>2 区民ボランティアのネットワークづくり 花いっぱい運動に参加するボランティアによる推進委員会を月に1回開催する。地域での活動をより活性化するため、ボランティアが公民館（沼田公民館、安東公民館）を拠点として活動（種からの花苗づくり、講習会の企画調整など）する。</p> <p>3 広報活動への支援 花いっぱい運動の活動を広く区民に周知するため、『花だより』の発行及び区役所ホームページで登録花壇の紹介を行う。</p>
安 佐 北 区	取組項目名称	安佐北区花のまちづくり推進事業
	目的	種の採取や挿し芽などにより、できるだけ新たな種や苗を購入することなくそれらを増やすことで団体の花づくりに役立てるとともに、活動団体間での相互交換や他の団体への提供などを積極的に行うことで、花のまちづくりを推進する。
	内容	<p>安佐北区内で活動する花づくり団体に対し、希望があれば春と秋の2回に分けて、種や苗、肥料等を支給し、花を増やす活動を支援する。</p> <p>また、年1回花づくり講習会を開催し、花づくりについて学ぶ機会を提供するとともに、団体間の交流の場面を創出する。</p>

安芸区	取組項目名称	花と緑と音楽のまちづくり
	目的	<p>区の地域特性を生かしながら、地域に誇りと愛着を持つ区民等と主体的に取り組むため、花づくりを行う地域団体等を支援し、地域による活動の輪をさらに広げていく。</p> <p>また、近隣町と連携した取り組みを行うことで、安芸地区の住民同士の交流を図る。</p>
	内容	<p>1 園芸講座の開催（公民館と共催）</p> <p>区民の花づくり活動を支援していくことを目的として、公民館と連携して園芸講座を開催し、花の種類、種まき、苗の育て方、寄せ植えの仕方等、花に関する技術を習得してもらい、花づくりの普及者（ボランティア活動）となるよう養成するとともに、受講者を中心とした新たな活動団体の育成を図る。</p> <p>2 花づくり講習会の開催</p> <p>地域の花づくり活動を継続（活性化）するために、区内の花づくりボランティア団体が一堂に会する、安芸区花づくり講習会を開催する。また、若い世代や子供たちに花と緑に触れる機会を増やしてもらうため、親子を対象としたガーデニング教室開催の検討を行う。</p> <p>3 近隣市町と連携した花づくり活動の展開</p> <p>平成28年度より海田町と連携して、瀬野川河川敷に植え付けを行った芝桜植付範囲を拡大するとともに維持管理を行う。</p>
佐伯区	取組項目名称	さえきフラワー・プロジェクト
	目的	<p>区民、学校、植物公園、公民館及び行政が協働して花を育てることにより、仲間づくりや地域間及び世代間交流を図るとともに、花をテーマにしたイベントを開催し、花と緑にあふれるまちづくりに向けた機運を高める。</p>
	内容	<p>1 実行委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント内容の検討、花の育成方法や生育状況についての情報交換 <p>2 花の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ毎に種から花を育成。イベントに合わせて開花するようにメンバーが協力して日々の管理を行う。 <p>3 イベントの開催 (イベントの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種から育てた苗を使った、花の塔の制作と展示 ・ 区の花「コスモス」を使った寄せ植えの制作と展示

1 広島市みどり生きもの協会賞

広島市の公園緑地関係事業の発展振興に著しく寄与した論文、技術又は実務を対象として表彰しています。

参考：表-7 広島市みどり生きもの協会賞受賞一覧

年 度	受 賞 者 名	賞 の 区 分
昭和56年度	(財)日本修景協会広島県支部	公園協会賞
昭和59年度	浅地 広	公園協会賞
	広島大学「アカマツ林における植生回復」研究グループ	公園協会奨励賞
	広島市青年緑化協会	公園協会奨励賞
昭和60年度	(社)広島県造園建設業協会	公園協会奨励賞
昭和61年度	植物研究グループ	公園協会奨励賞
昭和62年度	竹屋公民館平和大通り“樹の会”	公園協会奨励賞
平成元年度	広島女学院	公園協会賞
	沼田自然観察会	公園協会奨励賞
	いつかいち郷土史サークル	公園協会奨励賞
平成2年度	唐澤 耕司	公園協会賞
	堺町二丁目町内会	公園協会奨励賞
	福島青年連合会	公園協会奨励賞
平成3年度	広島総合銀行	公園協会奨励賞
平成5年度	岸本乳業(株)、丸畑 菊太郎	公園協会奨励賞
平成6年度	袋町フルーツパークグリーンクラブ	公園協会奨励賞
	安孫子 弘	公園協会奨励賞
平成8年度	本川地区老人クラブ連合会	公園協会奨励賞
	東雲本町二丁目老人クラブ	公園協会奨励賞
	宇品臨港線周辺を美しくする会	公園協会奨励賞
平成9年度	福田地区社会福祉協議会	公園協会賞
	広島佐東ライオンズクラブ	公園協会奨励賞
平成10年度	(社)広島市造園建設業協会	公園協会賞
	飯田 澄雄	公園協会奨励賞
平成11年度	広島市青年緑化協会	公園協会賞
	古市老人クラブ弥生会	公園協会奨励賞
平成12年度	広島ベゴニア会	公園協会奨励賞
平成13年度	花で飾ろう真亀の会	公園協会奨励賞
平成14年度	コイン通り花クラブ	公園協会奨励賞
平成15年度	広島市菊友会	公園協会奨励賞
平成16年度	染々花グループ	公園協会奨励賞
	東区緑のボランティアの会	公園協会奨励賞
平成17年度	金亀の里花いっぱいボランティアグループ	公園協会奨励賞
平成18年度	広島大学大学院国際協力研究科 教授 中越 信和	公園協会賞
平成20年度	I W A D環境福祉専門学校	公園協会奨励賞
	(社)広島市造園建設業協会	公園協会奨励賞
平成21年度	平和大通り樹の会	公園協会奨励賞
平成23年度	広島市植物公園ガイドボランティアの会	公園協会奨励賞
	日本ハンギングバスケット協会広島・島根合同支部	公園協会奨励賞
平成24年度	石田 源次郎	みどり生きもの協会賞
	A S A Z O Oボランティアーズ「作業グループ」	みどり生きもの協会奨励賞
	花と緑の会	みどり生きもの協会奨励賞
平成25年度	船越誰故草保存会	みどり生きもの協会奨励賞
平成28年度	ソーシャルガーデナー倶楽部	みどり生きもの協会奨励賞
平成29年度	広島清流ライオンズクラブ	みどり生きもの協会奨励賞
	ボランティアほことり会	みどり生きもの協会奨励賞
令和元年度	堀口 力	みどり生きもの協会賞

※1 欠年度は該当なし。

※2 平成24年4月に財団法人広島市動植物園・公園協会から公益財団法人広島市みどり生きもの協会に移行

2 ひろしま街づくりデザイン賞

広島市では、魅力ある街づくりに対する市民意識の高揚を図ることを目的に、広島の豊かな自然や街並みに配慮し、良好な景観の形成に貢献すると認められるもの又は行為を表彰する「ひろしま街づくりデザイン賞」を平成6年度から実施しています。

参考：表－8 ひろしま街づくりデザイン賞表彰実績

回	年度	応募件数	部門賞					環境にやさしい街づくり
			大賞	建築物(一般)	花と緑	街並み	景観まちづくり活動	
1	6 (1994年)	176	NTTフレド基町ビル	きっかわホテルフレックス 広島プリンスホテル	広島食品工業団地協同組合 組合会館	金座街地区第一種市街地 再開発事業施設建築物・西 新天地公共広場等整備	袋町フルーツパーク・グリー ンクラブ 出汐明照会	—
2	7 (1995年)	150	A.CITY ヒルズ & タワーズ	広島牛田新町郵便局 NTT DoCoMo中国ビル CEC dormitory	広島修道大学ハーモニ ロード	カーパーク八丁堀 (OKAMOTO B.L.D.G)	五日市駅北口地区市街地 再開発組合	—
3	8 (1996年)	156	—	NHK広島放送センタービル 市営江波沖住宅・特別養護 老人ホーム悠々タウン江波	—	エリザベト音楽大学2号館	宇品臨港線周辺を美しく する会 ホテルの里おくはた	—
4	9 (1997年)	171	—	広島観音マリーナ浮棧橋 広島市立大学 ルミエール霞	みずとりの浜公園	広島女子大学	広島市中の棚商店街振興 組合	—
5	10 (1998年)	133	広島市立矢野南 小学校	比治山本町のアトリエ DHハウス三滝	—	せせらぎの小路	佐東地区まちづくり協議会	—
6	11 (1999年)	170	—	[F]ビル Belle La Mer M's GATE CRYSTAL UNIT Ⅲ	ホテルJALシティ広島	—	コイン通り街づくり委員会	—
7	12 (2000年)	109	—	専門学校広島アートファ ッションアカデミー CUBE HOUSE ブリーズコート中野	平和大通り電気ビル公開 空地	広島MIDビル公開空地	可部からすの会 千田わっしょい祭	—
8	13～14 (2001年～ 2002年)	103	—	PAS	パークハウス中筋&ガーデン 基町フレド スカイパティオ	シャレオ 矢賀ストリート	横川ふしぎ市	—
9	15～16 (2003年～ 2004年)	146	学校法人鶴学園 なぎさ公園小学 校	—	千田町アインスタワー 広島緑化軌道	横川駅前広場周辺の一連 の街並み	歴史と文化遺産を生かした まちづくり活動	—
10	17～18 (2005年～ 2006年)	200	—	三滝の家	森の工房AMA	アーバンビューグランド タワー	市民による森づくりで身近 な環境整備 日本最初の国産バス復元 と活用	—
11	19～20 (2007年～ 2008年)	212	—	障害福祉サービス事業所 [いしうちの森]	喫茶店「ロシナンテ」の壁 面緑化	可部の街並み	猿猴川河童まつり	NPO法人ひゅーるぼん 「コミュニティほっとス ペースぼんぼん」
12	21～22 (2009年～ 2010年)	246	広島女学院大学 ゲーンズチャペ ル	—	ひろしまガーデン*ガー デン	BEAUX RAISINS Salon de café	ホテル☆の飛ぶ町づくり IN 山本川	広島ビジネスタワー
13	23～24 (2011年～ 2012年)	226	—	学校法人広島聖公会学園 聖モニカ幼稚園ホール棟 曹洞宗 八屋山 善門寺 庫裏	医療法人社団清風会五日 市記念病院	広島女学院中学高等学校 高校校舎	安の花田植の再現	広島環境サポーターネット ワークによる環境保全活動
14	25～26 (2013年～ 2014年)	185	日本キリスト教団 広島牛田教会・ あやめ幼稚園	楽山文庫	こころ西風梅苑	Tamaya BLD	ふたたびプロジェクト	—
15	27～28 (2015年～ 2016年)	173	—	安田女子大学、安田女子短 期大学 5号館 広島修道大学 3号館 宗教法人日本基督教団広 島流川教会・学校法人広島 流川教会学園流川こども 園	ギャラリー瓢箪堂	牛田商店街 街路灯	猿猴橋復元モニュメント 設置活動 大イノコ祭り	—
16	29～30 (2017年～ 2018年)	165	EKICITY HIROSHIMA	京橋 香り家 サンポービル エリザベト音楽大学3号館	バラのカーテン・花の道	EKICITY HIROSHIMA 牛田ゆとりの歩行者空間	広島菜のある街なみ伝承 プロジェクト	—
17	元～2 (2019年～ 2020年)	131	可部夢街道の町 並み保存とまち づくり	CHRONOS DWELL ひのっこホール 香月メディカルビル	染々花グループ 市道沿 い花壇	エキキターレ	美しい通学路・散歩道	—

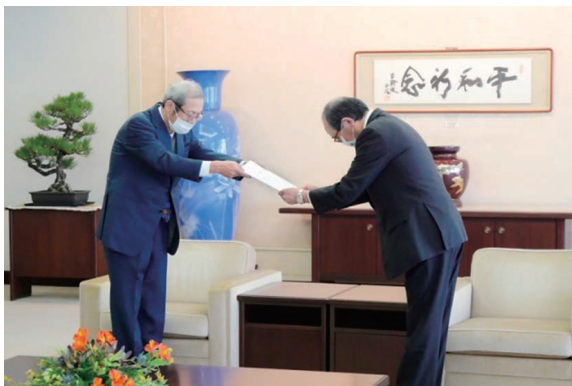
※1 平成12年度(2000年度)までは毎年実施していましたが、平成13年度(2001年度)から、募集から選考・表彰までを2か年度にわたって実施しています。

※2 部門賞の選外であっても、広島市の良好な景観に貢献すると認められ奨励賞を受賞したものは、「広島駅前大通会」、「瀬野川さくら・芝桜の管理清掃活動」、「IROHA Village」、「KOI PLACE」などがあります。

参考：表－9 計画策定の流れ

年 月 日	経 緯
令和元年（2019年）7月～12月	緑の現況調査を実施
令和元年（2019年）11月19日	【第36回広島市緑化推進審議会】 ・広島市長から広島市緑化推進審議会へ「広島市緑の基本計画の改定」について諮問
令和元年（2019年）12月25日～ 令和2年（2020年）1月20日	広島市の緑に関するアンケート調査を実施
令和2年（2020年）1月31日	【第37回広島市緑化推進審議会】 ・広島市緑化推進審議会で「計画」（骨子案）について審議
令和2年（2020年）7月31日	【第38回広島市緑化推進審議会】 ・広島市緑化推進審議会で「計画」（素案）について審議
令和2年（2020年） 9月30日～10月30日	「広島市みどりの基本計画」（素案）を公表し、市民意見を募集
令和2年（2020年）11月17日	【第39回広島市緑化推進審議会】 ・広島市緑化推進審議会で市民意見を踏まえた「答申案」について審議し、答申することを承認
令和2年（2020年）11月27日	広島市緑化推進審議会会長から広島市長へ「広島市みどりの基本計画」の改定について答申
令和3年（2021年）2月	「広島市みどりの基本計画（2021-2030）」の策定

広島市緑化推進審議会会長より広島市長へ答申（令和2年11月27日）



中越会長（左）と松井市長（右）



左から福島副会長、中越会長、松井市長

参考：表－１０ 広島市緑化推進審議会委員名簿（令和2年11月現在：敬称略）

区 分	職 名	氏 名
学識経験者	広島弁護士会 弁護士	朝本 孝一
	広島工業大学工学部環境土木工学科 准教授	今川 朱美
	広島修道大学商学部 教授	富川 久美子
	広島大学 名誉教授	◎ 中越 信和
	広島修道大学人間環境学部 教授	長谷川 弘
	広島大学 名誉教授	山本 春行
	国土交通省 P P P サポーター	吉長 成恭
各種団体の 関係者	広島商工会議所 事務局長兼産業・地域振興部長	伊木 剛二
	コイン通り花クラブ 代表	石田 邦夫
	N P O 法人緑の風景 理事長	高松 雅子
	広島市農業協同組合 非常勤理事	西本 桂子
	公益社団法人広島県建築士会	野口 美保
	一般財団法人日本造園修景協会広島県支部 副支部長	○ 福島 偉人
	広島市森林組合 森林整備課長	吉川 浩二
	広島花いっぱい推進委員会 委員長	和田 由里

◎：会長 ○副会長